

イデックスオイルレポート ~For a month~

2023年7月3日作成 (株)新出光

【月次概況】

●第1週、週末6/2のWTI原油は、先週比0.93ドル安の71.74ドルとなりました。米上院は1日、前日の下院に続いて、連邦政府の借入限度額である「債務上限」の効力停止などを盛り込んだ法案を可決。これにより、米史上初のデフォルト(債務不履行)は回避される見通しとなり、相場は早朝にかけて堅調に推移した。また、「OPECプラス」が4日に開催する会合で、追加減産に対する警戒感から、一部で持ち高を手じまう動きも見られた。

●第2週、週末6/9のWTI原油は、先週比1.57ドル安の70.17ドルとなりました。中国国家统计局が9日に発表した5月の生産者物価指数(PPI)の落ち込みが市場予想を上回ったことから、中国のエネルギー需要に警戒感が広がり、売りがかさんだ。ただ、サウジアラビアによる追加減産表明を背景とした需給引き締め観測も根強く、相場の下値は限定的だった。

●第3週、週末6/16のWTI原油は、先週比1.61ドル高の71.78ドルとなりました。中国の5月の原油処理量が過去2番目の高水準になったとの報が引き続き相場を支えた一方、欧米の中央銀行による金融引き締め継続方針が景気やエネルギー商品需要を冷やすとの懸念につながった。また、石油輸出国機構(OPEC)加盟国とロシアなど非加盟の産油国で構成する「OPECプラス」が今月4日、現行の協調減産の枠組み維持で合意した際、サウジアラビアが7月に単独で日量100万バレルの追加減産に踏み切ると発表した。

●第4週、週末6/23のWTI原油は、先週比2.62ドル安の69.16ドルとなりました。パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長は前日、年末までに2回の利上げが適切と想定していると米議会で証言。さらにサンフランシスコ連邦準備銀行のデイリー総裁は、23日公表されたロイター通信とのインタビューで、FRBが0.25%の上げ幅で年内2回の追加利上げを実施するとの見方は「非常に妥当な」予測だと明言した。FRB高官らのタカ派寄りの発言を受けて、追加利上げ観測が再燃。利上げ局面の長期化に伴う景気減速に警戒感が広がった。

●第5週、週末6/30のWTI原油は、先週比1.48ドル高の70.64ドルとなりました。米連邦準備制度理事会(FRB)がインフレ指標として重視する個人消費支出(PCE)物価が発表され、5月の総合指数は前年同月比3.8%上昇、コア指数は4.6%上昇。伸びはともに前月から鈍化した。これを受けて利上げ長期化観測が後退し、ドル指数が大きく低下。ドル建てで取引されるエネルギー商品の割安感が強まり、買いが活発化した。

| | | | | | | | | |
|------|-------|---------|-----|---------|--------|---------|-----|-------|
| 6月平均 | WTI原油 | 71.62ドル | 前月比 | -1.35ドル | 為替 1ドル | 142.27円 | 前月差 | 3.84円 |
|------|-------|---------|-----|---------|--------|---------|-----|-------|

| 日付 | 補助金 | 出光興産 | 変動幅 | ENEOS | 変動幅 |
|-----------|------|------|------|-------|------|
| 6/1~6/7 | 12.5 | | +2.5 | | +2.5 |
| 6/8~6/14 | 10.0 | | -1.5 | | -1.5 |
| 6/15~6/21 | 9.6 | | +0.5 | | +0.5 |
| 6/22~6/28 | 9.0 | | ±0 | | ±0 |
| 6/29~6/30 | 9.7 | | +2.5 | | +2.5 |

【単位:円/KL】

| メニュー価格推移 | 0.5HPP | | ENEOS LS船用燃料油基準価格 | |
|----------|------------------|--------|-------------------|---------------------------|
| | 2023年1-3月C重油決定価格 | 86,610 | 91,550 | 86,610(メニュー)+4,940(プレミアム) |
| | 2023年4-6月C重油決定価格 | 88,220 | 90,220 | 88,220(メニュー)+2,000(プレミアム) |
| | 2023年4-6月C重油決定価格 | 87,660 | 89,660 | 86,610(メニュー)+2,000(プレミアム) |
| | 決定価格1-3月比 | 1,050 | -1,890 | |

| 内航燃料油価格推移 | 適合油価格 | | A重油 | |
|-----------|------------------|--------|--------|--|
| | 2023年1-3月C重油決定価格 | 96,500 | 96,500 | |
| | 2023年4-6月C重油決定価格 | 95,100 | 95,100 | |
| | 2023年4-6月C重油決定価格 | 95,100 | 97,200 | |
| | 決定価格1-3月比 | -1,400 | 700 | |

| CIF価格推移 | 年/月 | 9桁速報 | 原油CIF価格 円/kl | 通関CIF ドル/bbl | 為替レート 円/ドル | 原油CIF価格 前月比 |
|---------|------|------|-----------------|-----------------|---------------|----------------|
| | 23/5 | 9桁速報 | 73,504 | 86.33 | 135.37 | 4.148 |
| | 23/6 | 最終予測 | 68,544 | 78.36 | 139.07 | -4.960 |
| | 23/7 | 展望 | 65,976 | 77.69 | 135.00 | -2.568 |
| | 23/8 | 展望 | 64,499 | 77.68 | 132.00 | -1.477 |

【次世代エネルギー】「世界初」トヨタの液体水素車、24時間耐久レースに挑む

自動車メーカー各社が二酸化炭素を出さない車の開発を進める中、世界で初めて液体水素だけを燃料とするトヨタの車が耐久レースに挑戦しました。5月、富士スピードウェイで行われた24時間耐久レース。トヨタ自動車は、「世界初の車」で参戦しました。その動力源は「液体水素」です。スタートドライバーをつとめたのは、MORIZOこと豊田章男会長。なぜ、液体水素エンジン車で挑戦するのか。

トヨタ自動車・豊田章男会長(MORIZO)「世界の温暖化にもひとつの選択肢を。次にバトンをつなげるよう安全運転を心がけます」

水素は化石燃料にかわるエネルギーとして期待されているのです。この車は、液体水素を保管し、気体にして燃焼させエンジンを動かす仕組みです。液体は体積が気体の800分の1になるため、タンクに入る量が増えることから、気体の水素を燃料とした車と比べ航続可能距離が2倍になりました。水素の技術は、トヨタだけではなく、多くの「仲間」が関わっています。「仲間」のひとつは、家庭でもおなじみ、「カセットガス」の岩谷産業株式会社です。天然ガスを化学反応させることで純度の高い水素を取り出し、それを超低温に冷やして液体水素ができあがります。そして、日本で唯一の水素に特化した研究所。この一見、炭酸水に見える液体が、マイナス253°Cの水素です。

脱炭素社会を実現するため、百年に一度の変革期を迎える自動車業界。24時間耐久レースでは、自動車各社が二酸化炭素を出さない燃料で車を走らせるなど実証実験をする場にもなっています。水素自動車は脱炭素社会の救世主となる日がくるのか。自動車業界の挑戦は続きます。

出典:yahooニュース <https://news.yahoo.co.jp/articles/f2583794194f15db7a6a960fe1cbd21d8af523c8>

【7月価格変動要因】

●需要: IEA6月月報によれば、2023年末の中国需要の見通しは日量16.58MBと、前年比1.56MBDの需要増予測が維持されている。一方、市場の期待に対して中国需要の回復は業種によってまばらとなっており、特に製造業・建設活動は当初想定されていたような回復テンポには至っていない。ベースシナリオとしては緩やかな需要回復が既定路線であり、中国需要に対する市場の期待剥落余地は相応に残されていると考えられる。

米国ではドライブシーズン入りし、ガソリン需要は増加傾向になるものと予想され、シーズンナリティブに原油相場は下値支えされやすい環境となりうる。

●供給: 石油リグ稼働数は引き続き減少傾向となっており、コロナ前の683基と比較すると100基以上少ない状況。ノルウェーのストライキに代表されるように石油掘削に従事する労働環境も評判が悪く、労働者が集まりにくい環境も生産動向には気がかりだ。一方で、ここもとはパーミアン盆地などの掘削効率のよい地域への投資が集中していることから、リグ稼働数が減少しているも生産量は年末にかけて増えていく見通しも存在する。

ロシア、ベネズエラ、イランなどの原油供給が予想よりも増加していることで、原油需給はバランスされているようだ。

レポートによりまちまちではあるものの、元々の予想から0.6MBD程度の供給増が認められる。

●在庫: 米週間石油在庫統計によれば、原油在庫は23日週で大幅な取り崩しとなっており、原油需給のタイト感が意識されて価格下支えの材料にもなった。一方で、一時は95%を上抜けた製油所稼働率も足元は92%まで低下していることを見ると、原油在庫の取り崩しは精製に回ったというよりは輸出に向かったとみる方が自然だろう。

●リスク資産・金融市場: 米債務上限の解決と金融不安の後退から、リスク資産のボラティリティは縮小傾向。23年末にかけての最大のリスクはインフレ再燃であり、これを抑えるためには安易な利下げ議論に向かうことができないと思われ、よっぽどのことがなければ現状の高水準の政策金利が維持されるだろう。

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

| | Brent | WTI |
|---------|-------|-----|
| High | 84 | 80 |
| Average | 76 | 72 |
| Low | 70 | 66 |

<3ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

| | Brent | WTI |
|---------|-------|-----|
| High | 87 | 83 |
| Average | 79 | 75 |
| Low | 72 | 68 |

| 日付 | 国 | 7月経済指標カレンダー | 日付 | 国 | 7月経済指標カレンダー |
|----|-----|----------------------|----|-----|----------------------------|
| 3 | 米国 | 6月ISM製造業景況指数 | 26 | 米国 | 6月新築住宅販売件数 |
| 5 | 米国 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨 | 26 | 米国 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表 |
| 6 | 米国 | 6月ADP雇用統計 | 26 | 米国 | パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見 |
| 6 | 米国 | 6月ISM非製造業景況指数 | 27 | ユーロ | 欧州中央銀行(ECB)政策金利 |
| 7 | 米国 | 6月非農業部門雇用者数変化 | 27 | 米国 | 4-6月期四半期実質国内総生産(GDP、速報値) |
| 7 | 米国 | 6月平均時給 | 27 | 米 | 5月新築住宅販売件数 |
| 7 | 米国 | 6月失業率 | 27 | ユーロ | ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見 |
| 12 | 米国 | 6月消費者物価指数 | 28 | 米国 | 4-6月期四半期雇用コスト指数 |
| 18 | 米国 | 6月小売売上高 | 28 | 米国 | 6月個人消費支出 |
| 19 | ユーロ | 6月消費者物価指数 | 31 | ユーロ | 4-6月期四半期域内総生産 |